

<http://www.namiki-masatoshi.com/>

討議資料

なみき

並木まさとし



議会報告レポート 第31号

45歳

発行者 埼玉県議会議員 並木正年 〒365-0038 埼玉県鴻巣市本町3-2-19-B

TEL 048-541-7777 FAX 048-543-8000 MAIL namikimasatoshi@soleil.ocn.ne.jp

6月議会では未だに余震が続いている熊本地震の被害を受けて多くの議員から防災・危機管理についての一般質問がおこなわれました。

私が所属する会派『無所属県民会議』は熊本を訪れ、大西市長から市としての課題や状況を伺い義援金(寄付金)をお渡ししてきました。また、熊本市議(自衛隊出身)に同行していただき、益城町をはじめとした被災地に入り調査をおこないましたが、断層近くの家屋は崩壊状態で一日も早い生活の再建が求められます。

熊本市では地域防災計画を大幅に上回る住民が指定避難所以外(計画上の171ヶ所に対し267ヶ所)に避難をしたため、情報伝達や物資配布が全く機能しなかったこと、また、物資の受け入れ場所を公開した為に大混乱を招いたことなどが挙げられました。また、避難所では同じ被災者でも支援する側と支援される側に立場が分かれてしまったようです。行政では限られた役割しか担えないことから、今後は避難所でも自治会運営のような役割分担が必要であり、本県や市においても物資の集積ルールの明確化・消防団員以外の「支援する側」の人材確保が必要だと感じます。



城壁が崩れた西大手門



戌亥櫓(いぬいやぐら)



災害対策室にて



ブルーシートが目立つ益城町

『九州ふっこう割』プランを利用して応援しよう！！

熊本空港上空に差し掛かると青色の屋根が多く目立ってきました。熊本地方は瓦が青い家屋が多いのか？と一瞬感じましたが、高度が下がると地震で被災した家屋のブルーシートだと分かりました。震災から3ヶ月以上経過しても余震が続き、豪雨の影響もあって倒壊家屋の処理にも非常に苦労している様子が見られました。

熊本城は復元に200億～400億円かかる見込みとの試算がされていますが、観光客は以前の2割程度しか戻っていないようです。私たちはつい遠慮して訪問を避けてしまいそうですが、現地の方々は「是非、訪れて欲しい」との声が非常に多いので、国が進める「九州ふっこう割」旅行プランをぜひ利用して九州を応援してみたいと思います。

*まずは夏休み期間7～9月に宿泊される方を対象に熊本・大分は最大70%割引。福岡・佐賀・長崎・宮崎・鹿児島は最大50%の割引旅行プランを販売。国の交付金を活用した事業のため取扱額が上限に達し次第で販売終了となります。